

火災多発に伴う注意喚起について



駿東伊豆消防本部では、今年に入り火災が多発しています。1月から3月までの火災件数は **52 件** で、前年同期と比べて **17 件** 増加しています。この時期は空気が乾燥し、また暖房器具等の火気を使用する機会が多くなることから火災発生の原因と考えられます。4月に入り、暖かくなる日も増えてきますが、風が強く吹くことや空気の乾燥はまだ続きます。火の元、火の取り扱いには十分に注意しましょう。

《平成29年1月から3月 火災件数市町別累計》

市町別 種別	沼津市	清水町	函南町	伊豆の国市	伊豆市	伊東市	東伊豆町	合計
建物火災	8	1		6	3	6		24
林野火災			1					1
車両火災	3					1		4
その他の火災	11	1	3	1	2	4	1	23
合計	22	2	4	7	5	11	1	52
死者	1							1
負傷者				5		1		6

上記の火災原因の内訳は、「**放火・放火の疑い**」が最も多く 12 件、続いて「**たき火・火入れ・取灰**」が9件、「**たばこ**」が5件となっています。

放火による火災対策

放火火災は、たばこによる火災やコンロによる火災など、人のちょっとした不注意から起きる失火とは異なり、人が火をつけるという意志を持って発生する火災です。

この放火火災を防止するための対策を各家庭で行い、地域においては「自分たちのまちは、自分たちで守る」という意識をもって、地域ぐるみで「放火されない環境づくり」に努めることが放火対策では重要です。次の事項を実施して火災を防止しましょう。



- 家の周囲、共用部の廊下や階段に燃えやすい物を置かないようにしましょう。
- ゴミは収集日の朝に出しましょう。
- 空き家の侵入防止措置をしましょう。
- 隣近所で声をかけ合い、放火されない環境をつくりましょう。

たき火による火災対策

たき火が原因となる火災の経過をみると、空気が乾燥した風の強い日にたき火をしたために延焼拡大したり、また、火の粉が風により“飛び火”して周囲の可燃物に燃え移り火災となったり、“消火が不十分”であったために再び燃え出して火災となったものなどが多くなっています。

たき火が原因となる火災は、一人ひとりの火の取扱いに対する“ちょっとした不注意”が原因となっています。たき火をする際は、次の事項に十分注意して火災を起こさないようにしましょう。



- 必ず消火の準備を行い、たき火をしている間はその場を離れることなく、たき火が終わった後は確実に消火しましょう。
- 火の粉が飛散して、火災が発生しやすくなるので、風の強い日や空気が乾燥した日にたき火はしないようにしましょう。

※ 静岡県生活環境の保全等に関する条例等で屋外での焼却行為は**原則禁止**されており、庭先のたき火等(焼却行為の例外)の場合でも生活環境への配慮が必要になります。

平成 29 年度全国統一防火標語 「火の用心 ことばを形に 習慣に」